

---

# 摂津市のまちづくりについての市民意見

---

- まちづくりについての市民からの意見募集の結果
- 市民活動団体や大学へのインタビューの結果

平成 21 年（2009 年）6 月

摂 津 市

## 目 次

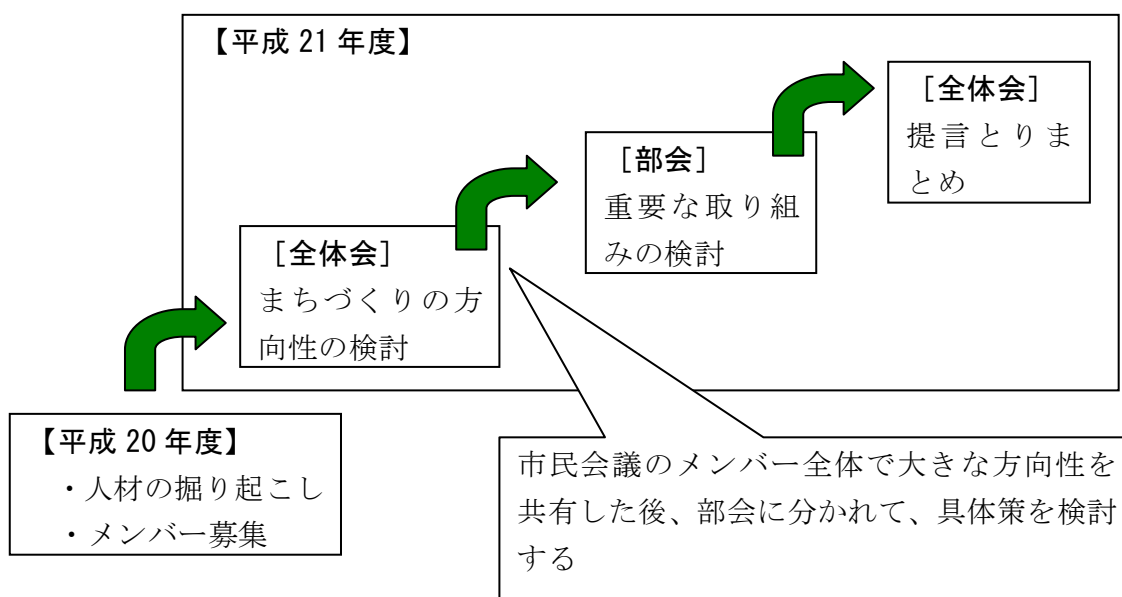
<b>I. 市民からの意見募集活動の全体</b> .....	<b>1</b>
1. 意見募集活動の目的等.....	1
2. 各活動の概要.....	1
<b>II. 市民からの意見募集</b> .....	<b>2</b>
1. 実施概要.....	2
2. 実施結果（提出された意見）.....	4
<b>III. 市民活動団体や大学へのインタビュー</b> .....	<b>13</b>
1. 実施概要.....	13
2. インタビュー結果.....	15

## I. 市民からの意見募集活動の全体

### 1. 意見募集活動の目的等

今回の意見募集活動は、平成21年度に開催を予定している「まちづくり市民会議」をはじめとして、市民と協働で計画を策定するための第一歩と位置づけている。

市民会議における提言書完成までの現時点での流れは、下図のとおりであり、今回の意見募集活動は、摂津市内にいる人材の掘り起こしを最大の目的としている。



### 2. 各活動の概要

今回の取り組みは、総合計画への市民の関心を高めるとともに、人材の掘り起こしを行うことを目的としており、おおむね下記のような内容である。

	概要
まちづくりについての意見提案募集	摂津市のまちづくりについて幅広く意見を募り、基礎資料とする。市民会議設置の予定もあわせてPRする。
市民活動団体へのインタビュー	まちづくりに関わる人材の掘り起こしを兼ねて、市内で活動している団体や市政モニターなどに、これからのまちづくりについてご意見を伺う。
大学へのインタビュー	まちづくりにおいては大学との連携・協力が欠かせないことから、摂津市に立地する大阪人間科学大学に、これからのまちづくりについてご意見を伺う。

## II. 市民からの意見募集

---

### 1. 実施概要

#### (1) 目的

---

本市のまちづくりについて広く意見・提案を募り、次期総合計画の策定に役立てることを目的とする。

同時に、総合計画についての提言を作成する市民会議の公募を予告し、人材の確保につなげる。

#### (2) 募集する意見・提案のテーマ

---

次期総合計画の期間が2011年度（平成23年度）から2020年度（平成32年度）までの10年間であることから、次のテーマで意見・提案を募集する。

- ◎ 「10年後、摂津市はこんなまちになってほしい」
- ◎ 「10年後、摂津市でこのように暮らしていきたい」
- ◎ 「摂津のまちの問題点・課題」

#### (3) 募集方法

---

公共施設（市役所：情報コーナー、政策推進課・公民館6館・図書館・鳥飼図書センター・男女共同参画センター・正雀市民ルーム）に設置する受付箱もしくは、郵便、FAX、電子メールで意見・提案を受け付ける。

なお、様式は自由とするが、住所・氏名の明記は必須とする。

#### (4) 募集期間

---

平成20年10月6日（月）～11月7日（金）

#### (5) 広報活動

---

広報紙（10月1日・15日号）、市のホームページ、公共施設へのチラシ・ポスターの設置により広報する。

また、女性大学参加者や市民活動団体などにもチラシを配布し、PRする。

#### (6) 意見・提案の活用方法

---

内容により分類・整理し、冊子としてとりまとめ、公表する。

また、策定委員会や市民会議など計画内容を検討する様々な場に基礎資料として提供する。

なお、その際、個人情報公表しない。

# 新しい総合計画の策定に みなさんの意見・提案を

摂津市では、平成 23 年度から 10 年間のまちづくりの指針となる「総合計画」の策定作業を進めています。そこで、摂津市のより良いまちづくりに向けて、市民の皆さんのご意見・ご提案を募集します。

寄せられたご意見等については、内容を整理し、冊子「市民の声」としてとりまとめ、計画の内容を検討する様々な場に提供していきます。ふるってご応募ください。

また、総合計画についての提言を作成する「市民会議」の参加者 20 人を、今年度中に募集する予定です（詳細は、広報紙等で案内します）。

## 【ご意見・ご提案の募集テーマ】

- ☆ 「10 年後、摂津市はこんなまちになってほしい」
- ☆ 「10 年後、摂津市でこのように暮らしていきたい」
- ☆ 「摂津のまちの問題点・課題」

\* 応募は、次の 3 つの方法からお選びください。

- ① 市役所（情報コーナー・政策推進課窓口）、公民館、図書館、鳥飼図書館センター、男女共同参画センター、正雀市民ルームに設置している受付箱に投函。
- ② 郵便、FAX、電子メールで政策推進課へ送付。
- ③ 市のホームページ（<http://www.city.settsu.osaka.jp/>）の政策推進課のページに掲載しているフォームを使って送付。

\* 様式は自由ですが、ご住所、お名前は必ずご記入ください。

※ご意見等を公表する際、個人情報には公表いたしません。

\* 応募期間は、平成 20 年 10 月 6 日（月）から 11 月 7 日（金）までです。

## ■ご意見・ご提案の送付・問い合わせ先■

摂津市役所 市長公室 政策推進課

〒566—8555 摂津市三島一丁目 1 番 1 号

電話 06—6383—1111、072—638—0007

（内線：2142、2143）

FAX 06—6319—1924

電子メール [seisaku@city.settsu.osaka.jp](mailto:seisaku@city.settsu.osaka.jp)

たくさんのご意見を  
お待ちしております！



摂津市マスコットキャラクター

セッピー

## 2. 実施結果(提出された意見)

### (1) 分野別の集計

出された意見について、現行の総合計画の項目に分類をすると、下表のようになった。なお、分類にあたっては、1人の意見で複数の項目にまたがるものは全てカウントすることとしたため、件数の総数は回答数より多くなる。

最も多い意見は、「都市基盤施設の整備」であり、自転車や歩行者、ベビーカーが安全に通行できる道路の整備、公共交通の未整備（地域による格差の大きさ）などへの不満、要望が多い。また、市内の各駅（新駅含む）へのアクセスの悪さも多い。

次に多い意見は、「都市核」と「みどりの環境整備」である。「都市核」については、現行計画の都市核ではなく、駅周辺の環境や整備状況ととらえて、分類した。特に正雀駅周辺の状況に関する意見が多く、通行量の割に道路が狭いことへの不満が多い。一方で、商店街に元気がないことも指摘されている。「みどりの環境整備」については、街中に緑や花が乏しいという意見が多い。「水辺の整備」に対する意見がないこととあわせて考えると、豊富な河川周辺の緑については、評価されていないことが伺える。

次に多いのは、「市民主体のまちづくり」である。団塊の世代の活用や住民の提案、人材の掘り起こしなどにより、まちづくりを進めることに対する意見が多い。

現行計画の項目		件数
1. つどい、いこい、にぎわう好感都市づくり	都市核	8
	シビックゾーン	1
	魅力づくり	6
2. やさしさあふれるところづくりを進める幸福感都市づくり	平和と人権の尊重	3
	男女共同参画社会の実現	0
	福祉の充実	4
	健康づくり	4
3. 地球時代のひとづくりを進める交歓都市づくり	都市交流の推進	0
	市民文化の振興	5
	教育の充実	2
	生涯学習の推進	7
4.暮らしをささえ、活力にあふれたものづくりを進める広環都市づくり	産業の振興	4
	勤労者・消費者施策の充実	2
5. 安全で快適な生活を生みだす好環都市づくり	水辺の整備	2
	みどりの環境整備	9
	住環境の整備	6
	地域環境の保全と創造	9
	都市基盤施設の整備	14
6. 市民とともに創りあげる高感都市づくり	市民主体のまちづくり	8
	情報の公開・提供	3
	広域行政	1
	行財政運営	7
7. その他		1

## (2) 個別の意見（一部、固有名詞や挨拶部分等を削除・修正）

出された意見は下記のとおりである。

	意見・提案
1	<p>新駅にたくさんお金をかけて整備する前に、坪井踏み切りの安全対策をまずして下さい。            自転車・歩行者が安心して通れる歩道の整備をお願いします。            正雀の駅前まで市内循環バスを通して下さい。</p>
2	<p>地球温暖化を防止するためにも、エコの街づくりを目指してほしい。そのためには、自動車より            自転車を優先にして、安全な歩道・自転車道を作して下さい。            駅前も自転車・歩行者が通りやすい広い歩道・自転車置場をお願いします。            公共施設は車イスの入れるトイレだけでなく、洋式トイレを必ず設置して下さい。高齢化でしゃ            がむのが苦痛になってきています。</p>
3	<p>子どもをまだベビーカーに乗せていた頃、道路の悪さにへきえきしていました。もう少し歩道を、            道路を何とか整備していただけないでしょうか。            正雀本町商店街が、もっと活気があればいいなと思います。</p>
4	<p>川沿いの街という特色を持ちながら、安威川以南と以北の交通や景観の地域差を感じます。今後            コミプラができることで、その差は大きくなるのではと、案じています。            川の美しさや自然環境をいかした街づくりを以南でも進めてほしいです。特に大阪独特のドハデ            看板を規制し、京都や札幌のように景観保護のため、市内建造物に使用するカラーを決めて、落            ち着いた色合いの街並みにしてほしいです。ゴミのポイ捨てが多いのも、美しさを感じられない            街に愛着を持つことができないからかもしれません。            また、交通網の整備をして、高槻から一津屋方面の朝の渋滞の緩和や交通の不便について、ぜひ            とも考えてほしいところです。</p>
5	<p>正雀駅をおりるとタクシー、焼きそば屋等とても危険だと思います。            犬の散歩をしていると、糞がたくさんとらずに残っています。市民のモラル向上をはかるようお            願いしたい。            選挙の投票率が恥ずかしいくらい低い。上記同様モラルが低い。これをお願いするのもおかしな            話であるとは思いますが、投票場所の問題等考慮すべき問題もあると思います。期日前投票の投            票所をもっと多くできないものだろうか。</p>
6	<p>1 加齢とともにもっとも心配していることの 하나가、病です。（認知症を含む）            ぜひ総合診療のできる市民病院や介護施設の充実に力を注いでほしい。            2 大型ショッピングセンターに飲食店を併設した複合施設の誘致に努めて下さい。            特に法事の会食もできるような大型の外出（飲食）店舗の進出に期待します。            3 公園は本来子供たちが健全な遊びを学ぶ場であり、親子のきずなを深める場でもあると考え            ておりますが、中央に噴水が陣取り、周囲は中高木で囲まれ、危険きわまりない場と化してい            ます。トイレはよごれ放題で、浮浪者に占拠されているところも少なくありません。改善して            下さい。            4 千里丘や正雀(特に正雀)は商店が疲弊しており、空店舗が正雀では目立ちます。何とか街            の活性化のためにも商業施設の充実に希望します。</p>
7	<p>摂津市に来てから、24年は経ちました。始めは山が無いのがもの足りなくて、休日には茨木市            や高槻市の山へ車を飛ばしたのですが、今はなれました。            それで思うのですが、歩道を広げたら、そこへ木を植えて貰ってはどうか。また、河川            敷が広いので、所々に楠の木を植えては如何でしょうか。            先日、御近所の奥様と、色々お話したのですが、ビルの上に木を、花を植えては如何でしょうか。            そして、マンションなんかの上には木もよろしいが、太陽電池を取りつけてはどうか。            緑の町をよみがえらせることはできないでしょうか。</p>

意見・提案	
8	<p>まだまだ発展途中の摂津市と思います。今一番問題になっているのは教育面であると思われる。基礎である小学校での教師の件で提案を。</p> <p>まず担任2年間（6年間で3人の担任を経験）で中学校教師との相互交流又は交替制、民間企業戦士との交流又は交替制。これにより将来を見据えた知識を伝えることができる（教師の実体験を含めた本当の教育）。小学生に対して将来志向は、まだ早いと言われる方も多いと思われるが、将来を見据える意識を育むことは大切な要素である。これにより片寄った意識を持つのは危険と言う意見も出てくると思いますが、各自がそれぞれに違った将来志向を持って互いに切磋琢磨し、将来に向かって一芸でもいい、知識を得るために、教師が援助する。今迄述べてきたのは英才教育と言われる方もあろうかと思いますが、私は何か秀でたものを育むには教師から経験を含めた知識が必要である。また、小学校教育の見直しの中で、上記のことを1/3～1/4 繰り返し入れることで、今までの基礎教育もできるように思えます。</p>
9	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 阪急正雀駅前整備を早くやってほしい。特に東口駅前、両側に店（たこやき、のみ屋等）ができ、安心して通行ができない。</li> <li>2 子供たちやお年より、障害者が安心して暮らせる、特に道路の整備を。</li> <li>3 廃校になった小学校や公共施設を市民がいつでも利用できるよう改善、開校して下さい。</li> <li>4 若者が元気のでる街づくり。市営住宅、産婦人科医院、保育への援助など、市民の目線で行政を行ってほしいです。</li> </ol>
10	<p>「摂津市のいいところは」と聞かれた時、「小さな町だから」と答える市民が多いことに気づきます。「市の動きが分かるから」というのがその理由でしょうか。本気で、市民と共に進めるまちづくりを考えてみてはいかがでしょうか。</p> <p>小さい市であることの良さが生きるまちづくり 住民が主人公のまちづくり</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 住民の意見の汲み上げと行政施策への反映 自治会単位の市政懇談会（仮称くるまざこんだん会）の開催 小学校区単位の市政報告会の開催 市政への提言・提案活動と広報活動の充実</li> <li>2 住民とともに取り組むまちづくり活動の推進 住民の提案に基づく活動の受け入れ体制の整備と財政的支援 摂津市独自のミニNPO法人制度の創設と活動支援 市民活動のネットワークづくり</li> </ol>
11	<p>緑の多い町、経済的に活気のある町、福祉にも配慮した町など望みはいろいろありますが、財政面で考えると、どれもこれもは無理だと思います。</p> <p>そこで摂津の今現在生かせるのは”人の力”だと思います。今ある人材を活かす工夫、新たに人材を掘り起こして育てる仕組みをつくること。その人たちのネットワークづくりなどに行政も力を出して欲しいと思います。その人づくりやネットワークづくりの拠点の1つとして重要な役割を、公民館が担えると思います。公民館から職員さんを引き上げられましたが、もう一度、その重要性を認識していただいて、職員さんを再配置してもらいたい。市民の声を吸い上げる場、市民力を発掘・育成・活かす場としての公民館に、人を活かせる職員さんの配置を願います。職員さんがしっかり仕事をしていただいて住み良い町、生き活きた町となって欲しいです。</p>
12	<p>私は今、夫の転勤で他市に住んでいますが、数年後には摂津市に戻ります。その時には住みやすい町、心暖かい町になっていることを夢んでいます。</p> <p>外から見た摂津は、とても緑が少なく夏は昼夜とても暑かったです。建ぺい率の問題もあるかもしれませんが、千里丘駅からバスに乗っても、道路わきに街路樹もほとんど植えられてないし、会社や倉庫の敷地の中にも緑が少なく感じます。温暖化を防止するための、ささやかな目的かもしれませんが、もう少し歩道を広め、その脇に街路樹を植えていただけたらと思います。</p> <p>それから40年前から住んでみて、交通の不便さをすごく感じます。モノレールが五久周辺を通ると聞いた時は、これで便利になると思い喜びましたが、それもダメで、ますます不便さを感じています。茨木～西面経由～八防のバスも1日2～3本になり、中鳥飼～上鳥飼周辺の方たちは、五久まで歩いています。柱本迄はバスが来ているようですので、乗り継ぎ券を発行できないものかと、帰る度に思います。市の方で交渉していただくことはできないでしょうか。自治会とか小団体で交渉しても駄目だったと聞いたことがあります。</p>

意見・提案	
13	<p>「摂津のまちの問題点」</p> <p>2011年よりアナログ放送が見られなくなり地上デジタル放送に切り替わる中継地点も出来て大阪府でも見られるようになってきているが、正雀4丁目は見られない。体育館ができる時に共聴アンテナになって、UHFアンテナが付いていれば見られると聞いていたが実際には受信できない。関係部署に問い合わせしたら古いUHFアンテナでは受信できないとのこと。より住みよい町づくりにはこういうことの迅速な対応も必要だと思う。</p>
14	<p>「10年後、摂津市はこんなまちになってほしい」</p> <p>摂津市美術展や摂津音楽祭を軸にした『芸術文化』の特化都市にして欲しいのです。市民が手軽に利用できる「ミニ美術館」や、市民文化ホールでの舞台定期公演の誘致等を、可能な限り実現したいのです。</p> <p>「10年後、摂津市でこのように暮らしたい」</p> <p>阪急摂津市駅を中心に、花が咲くような街並みの広がりを、今住んでいる市民にも協力し合えば、きっと素晴らしい暮らしになると思います。</p>
15	<p>正雀駅は、私が引っ越してきた時（25年前）より全く変わっていません。駅前なのに車、自転車、歩行者が入りみだれての通行。大きな事故にならないのが不思議ですが、もう少し広くなって道路が整備されればと思います。最近、店頭販売のお店ができて、人がいっぱい、車が通れないこともあります。正雀駅前整備はないのですか？</p> <p>阪急の摂津市駅ができるそうですが、一中と摂津小学校に通う子たちが心配です。大きなマンションができるそうですが、車の量が増えて道路が混雑しませんか。踏み切りの遮断機の開かない時間が増えるとのこと。子どもたちが危なくありませんか。</p>
16	<p>私は大変不便な鳥飼上に住んで30年になります。</p> <p>昔と比べると、大分便利にはなりましたが、今日はお願いたくしてペンを取りました。それは巡回バスです。本当に有難うございます。皆喜んで利用させてもらっています。私は1人暮らしのものですから、とくに心から感謝しております。どうか大変なこととは思いますが、巡回バスはいつまでもやめないで下さいませ。大変なこととは思いますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。</p>
17	<p>明るくて、ずっと平和な摂津市にしてほしい。みんなで助け合って、協力し合う摂津市にしてほしい。世界一ごみとかがない世界。</p>
18	<p>これからいじめやけんかがないように、世界一明るいまちにしたい。</p>
19	<p>平和で楽しく、みんなが幸せに暮らせる世界にしたい。</p>
20	<p>もっとエコしてほしいです。</p>
21	<p>夢を大切に。</p>

意見・提案

[ありたい姿]

花と緑に溢れた環境に優しく、田園文化と都会センスのハーモニーの感じられる落ち着きと活気の共存する街。

[問題点・課題]

- 1 街の景観に花と緑が少なく、安らぎが乏しい。  
地形的に湿地帯が造成開発されて発展してきた街で、山や丘がなく(一部千里丘地区にはあり)無味で変化に乏しく自然環境の潤いが無い。
  - 2 幹線道路や鉄道が街の中央を通り、騒音や排気ガスを撒き散らし日常生活のうえで住み難い環境。  
中央環状線や新幹線など幹線交通網が街の活気を産み出しているが、住環境としては総体的に快適とは言えない。
  - 3 道路と歩道の分離が不十分なうえ歩道が未整備で自転車や歩行者にとって危険がいっぱい。  
自転車用道路の整備は進んできているが、今後の地球環境を考えるとサイクルロード(オランダではどの街にもあり)や歩道の不整備が目立つ。
  - 4 市内公共交通網の格差が大きい。  
JR、阪急電車、モノレールの公共交通網は整備、充実しているが、バス路線に頼らざるを得ない地域との格差が拡大している。とくに市の北東、南西端の地域はバス路線も不十分。パーク&ライドシステムの充実がポイントか？
  - 5 文化教養・社会的モラルのレベルが低い。  
国公立の高校・大学や文化施設がほとんどない。福祉など消費型財政に重きが置かれ、将来価値を生む創造型財政の投資が低い。インテリやテクノクラートが住むのに魅力が乏しい街。人間基礎教育を声高に訴えなければならない状況で具体策が見えない。
  - 6 箱もののインフラ整備は進んできたが、中身が乏しい。  
インフラの活用が1次機能レベルで複合化や融合化といった効率的な活用の2～3次へのグレードアップがない。
  - 7 街の顔、アイデンティティが見えない。
- 22 摂津市は何が特徴か、他市との違いが分からないし、見えない。

[提言案]

- 1 摂津市10年ビジョン(ありたい姿)の整合
- 2 環境整備  
道路、水路堤(淀川、安威川、山田川、農水路など)、公園への植樹や花壇の充実、市内水路の自然化・浄化による美しい町並み景観を！  
⇒市民ボランティア運動による推進。  
地球環境や生活環境にやさしい歩道、自転車の整備、拡充。  
環境保存地区、施設の認定と維持管理。  
市内通過型車両の進入規制による環境改善。  
安全な生活環境づくりとして信号灯、防犯灯や防犯監視カメラなどの整備、充実。アミューズメント施設の許認可強化。  
駅前、大型店舗区域などの防犯強化。
- 3 交通インフラの格差是正、整備  
安威川以北、以南の格差是正。とくに以南のバス路線網の充実。  
駅前駐車場の拡充・整備とパーク&ライドシステムの導入。
- 4 文教・社会モラルの向上  
高度文化・教育研究施設機関の誘致、地域活用。  
高度文教指導者の市内移住誘致と市民活動への積極的啓蒙・指導。  
⇒どんぐり背比べでは限界あり。  
公民館施設など第一線の社会教育施設・陣容の充実と教員OB活用による活動内容の拡充。  
民間人の公的機関施設・システム(教育、行政など)への登用と活用。
- 5 その他  
行政・公共施設、人材の効率運営⇒民間の経営手法導入。出先機関の民営化、経理システム見直しなど。  
CSRの徹底⇒公務員のモラル向上と法令・規定遵守徹底  
⇒信賞必罰導入検討。

意見・提案

「10年後、摂津市はこんなまちになってほしい」

市民の「不安」はますます募っている。

社会保険庁の不祥事や宙に浮いた年金記録問題、医療・介護、治安の悪化、金融の崩壊による市民資産の目減り、食料・食品の汚染、物価の高騰等いずれも深刻な状態である。そこで不安対策として、特に重要と思われる事項について意見・提案をする。

1 市民が安心して暮らせるまち

医師不足などにより医療体制が危機的状況にある。とりわけ「命」にかかわる救急医療体制の整備が急がれる。

(1) 救急医療体制の確立

最近、救急患者を病院の都合（空きベッドがなかったり、医師不足などのため等）で患者の受け入れを断るケースが続発しており、また医師不足は深刻で救急診療を停止する病院が増えている。当北摂地区では幸い医療機関が充実しているので、救命救急の司令塔的機関（救急110番）を設置して、各医療機関から空きベッド情報や専門医療分野などの情報をコンピュータに登録しておき当施設に照会すれば、病状に応じて適切に指示が出せるようなシステムの構築が急務と考える。

(2) 周産期医療の充実

今や産科救急が危機的な状況に陥っている。上記の救急医療体制に組み入れ、産科救急患者を確実に受け入れられ、いつでも他の診療科との連携がとれる態勢を整えることが重要である。要するに、妊婦が安心してこどもを産める態勢の整備が急がれる。

2 市民の暮らしを豊かにするまち

非正規社員の増加や労働分配率の減少などにより、給料が上がらず反面物価は高騰し生活は苦しくなっている。政府は定額給付金の支給が検討されているが、これはあくまで一過性のもので生活の安定は望めない。恒常的な生活の安定には就職・雇用の促進とその安定が不可欠である。

(1) 創業塾の開設

23

近頃、フリーターやニートが社会問題となっている。彼らの就業（就職・創業）を支援するために、創業塾（仮称）の開設を望みたい。当地域の各大学や雇用・能力開発機構大阪センター（ポリテクセンター関西）と連携して、若者の職業に対する心構えや技術の研修を行う機関の設置を要望する。

(2) 高齢者・障害者の就業支援

ポリテクセンター関西と連携を密にして職業に対する知識や技能を身につけ、希望する業種や特技等を登録し、ホームページに掲載すると同時に各企業に働き掛け雇用の促進を図る。

3 市民の心を豊かにするまち

(1) 「南千里丘まちづくり」にともない、文化施設として映画館やコンサートホールなどの設置を希望する。映画や音楽には、懐かしさ、心の癒し、元気がでる「ちから」があり、人間が健康に生き心を豊かにする効果があると思われる。

(2) コミュニティプラザ（南千里丘）に、文化振興の一環として図書館（室）の設置を要望する。市民図書館には蔵書検索機を導入しており、自宅のパソコンからも検索可能で、図書館の検索機能を便利に利用している。このシステムを新図書館にも備え付ければ市民図書館や鳥飼図書センターおよびそのほかの図書館の図書も有効に活用できる。ちなみに、南千里丘周辺とそれ以北の人口は、30,083人で総人口の35.6%を占めている（平成19年3月31日）。この地区は人口密度の高い地域で、市民はより便利になり図書館の利用が増えるものと考えられる。また新駅・阪急摂津市駅（仮称）の乗降客に喜ばれる図書を揃えることも大切である。

4 安心して子育てができるまち

子供が巻き込まれる虐待・殺人等痛ましい事件が後を絶たない現状であり、この対策が必要である。

(1) 家庭教育の充実

幼児から接するのは母親であり家族である。子育ては親が手塩にかけて育てるもので、子供にとって安全・安心な居場所は家庭であり、家族団欒の場であるべきだと思っている。最近礼儀・作法をわきまえない子供が多く、電車の中でも他人の迷惑を考えない振る舞い、親がついていながら注意しない光景をよく目にする。これは基本的には親が躾けなければならない課題だと思われる。

(次ページに続く)

意見・提案	
23	<p>(2) 学校との連携 学校と家庭をつなぐなかで、それぞれの役割を明確にし、家庭訪問や母（父）親参観日などの機会を捉え、両者が話し合い、協力し合い子供が迷うことなく学習ができる態勢の構築が重要である。</p> <p>5 市民にとって快適なまち 「緑を増やし、川の水を利用し、風を通して気温を下げ、さらに排熱も減らす」をモットーに、自然を活用したまちづくりが必要である。対策として、</p> <p>(1) 「緑」は学校や公園の樹木や芝生を増やし、南千里丘・吹田操車場跡地まちづくりに緑化を図る。また屋上の緑化も推進する。</p> <p>(2) 「水」は淀川、安威川、境川等の水辺を整備して、安らぎと癒しに役立てる。 なお、川の岸边には四季折々の草花を植えて、楽しめる空間をつくる。</p> <p>(3) 「風」は緑と川の流れ（水）を繋ぐことによりできる『風の道』により、ヒートアイランド（熱の島）現象を緩和する。</p> <p>(4) 「排気ガスの削減」は建物の空調や自動車から出る熱（ガス）をどう減らすか、の努力が肝要である。 また基本は省エネ、公共交通を充実させ自動車の利用を控える運動の展開も肝要である。</p> <p>6 市民サービスのよいまち 今後さらに高齢社会になることは必至である。時代を先取りした対策が望まれる。</p> <p>(1) 相談窓口の統合 一つの相談でも関連する課（係）を数箇所まわらなければならない場合がある。 これは、体の不自由な高齢者や障害者にとっては過酷である。この傾向は今後ますます進むものと考えられる。 そこで、関連する情報はコンピュータで把握されていると思われるので、関連各課の端末機で検索できるシステムにすれば、一箇所の窓口で対応（相談・回答）ができるものと思料される。 相談項目を洗い上げて、市民がワンストップサービスを受けられるように市役所の相談窓口の統合を要望する。</p> <p>(2) 住民票等の発行 市役所が発行する証明書で発行頻度の高いもの、住民票、印鑑証明書、戸籍謄・抄本を、インターネットを利用して自宅から取得できるようになれば、一段と便利になることを願っている。これは夢ではないと信じている。 なお、将来的には広域化すなわち大阪府下、近畿圏さらには全国順次拡大が望まれる。</p> <p>(3) 広報行政の充実 市の広報活動は主に「広報せつつ」で行っているが、この「総合計画」も知らない一般市民が多いと思われる。長期計画は計画樹立の段階で市民の意見を聴くことは、もちろん大切であるが、発行後においても定期的にその計画の進捗状況や問題点などを抽出しその解決に努めるべきである。この段階でも市民に報告するなり、必要に応じて市民の意見を聴くことも重要である。</p>
24	<p>&lt;これからの摂津市について—10年後の摂津市は？？・・・&gt;</p> <p>1 安全・安心、なごみのあるそんな街であって欲しいと思いますが、私の思うところを順不同ではありますが、述べさせていただきます。</p> <p>2 まず、やや抽象的な言い方ですが、摂津市は小さな都市ではありますが、「人の集まる、人が集う街づくりであって、また、そんな街であって欲しいと思います」</p> <p>3 そのためには、人を大事にする街、今ある市の資源を有効に活かすこと（ヒト、モノ、カネ、ノウハウ）ができる施策、今、市が考えようとされている5年後10年後の姿を描いた街づくりがきわめて重要であると思います。</p> <p>4 今、摂津市にある資源といえば</p> <p>(1) ヒト：団塊の世代が定年を迎え、各々のノウハウが蓄積されていると思います。これらの人材を発掘し、活かす方策：街づくりはヒトづくりからとも言えると思います。</p> <p>(2) モノ：自然、交通アクセス、景観など、今、市は大きく変わろうとしています。変わろうとする反面、今ある資源が真に活かされているのか？</p> <p>(次ページに続く)</p>

意見・提案

①自然・・・安威川、大正川、淀川 etc

市民の憩いの場として、整備されているのか。人の集いの場となっているのか。

②交通アクセス・・・モノレール、阪急、JR、新幹線基地、中央環状線 etc

人が集まり、また人の関心の強いエリアがたくさんあります。阪急の新駅もそうでしょう。新幹線の鳥飼基地も、土・日には親子連れで、お父さんの肩車で子供さんが新幹線の車両に興味深くみておられる姿はよくみかけます。一方、交通量の多い場所に駐車、危険きわまりないところ です。

今のままでよいのでしょうか。政治力を活かしたり、市として市の名所として、対応すべき段階にあるのではないのでしょうか。

③交通渋滞の解消のために、やっと JR 千里丘の工事がはじまり目途がついてきましたが、阪急新駅ができることによって、また渋滞ができると想定されるのではないのでしょうか。

小生は阪急新駅ができることによる便利さと不便さが気になります。市民にとって便利さはきわめて重要なポイントであると思います。どのように対処されるのか、JR 千里丘の二の舞とならないためにどうするのか、きっと真剣に考えられていることと思いますが、日常一番難儀するのは市民であることを念頭においた対応が必要かと思 います。

④市内緑化の推進

緑、草花、木立はヒトの心をいやすとても大事な空間です。

幸い、吹田操車場跡地、阪急新駅、大正川、安威川、淀川流域と自然にふれる場づくりができる ところがたくさんあります。

計画的に、またボランティア、NPO 法人なども含めて、花のある、緑のある街づくりをじっ くりと考える良いタイミングであると思います。

(3) ヒトにやさしい街、心づかいのある街であるために・・・

交通マナーの悪さは摂津市に限ったことではありませんが、きわめて悪い状況にあると思 います。今般の道路交通法の改正により、歩道は歩行者優先（あたりまえのことですが）にもかかわら ず、自転車は自分勝手にそこのけそこのけと走っています。大人も小人も同じであると思 います。（すべての人のことを言っているわけではありません）

については提案ですが、摂津警察と共同して、小学校だけでも対象にして「自転車教室・自転車 免許制度を採用してみてはいかがでしょう—市独自で—」

模擬的に横断歩道をつくったり、踏切をつくったりして実技指導して、合格した子供さんには 「自転車乗車合格証」を出して、合格証のない子供さんは、合格するまで、自転車に乗れないよ うにする、合格者には合格者の自転車に「合格ワッペン」をつけて区別をするなど、これも一例 ですが、マナーの良い摂津市にする一助になるのではないかと思慮します。

(4) カネ・・・

市は財政上苦しい中でやっと単年度で黒字化してきたようですが、ボランティア、NPO と提携 した街づくり、それもメインとなるようなところにカネをかけずに名所をつくりあげていくこ とを考えるべきだと思います。

難しい問題、課題だと思 いますが、安威川の両岸を桜の花いっぱいにしたら、どんなにすばら しいでしょうか。

土木事務所との交渉もあるでしょうが、浜町から八町までの堤防に桜の花が春になると延々と つづく桜並木になれば、市民の憩いの場にもなるでしょうし、他市からもヒトは集まってくるの ではないでしょうか。

人が集まれば、楽しいやすらぎが生まれ、モノが動き、カネも落ちてくる、そんなことを考え ると嬉しいではないですか。

花のある街づくり、川と桜とモノレールと新幹線がすべてみえる、そんな街は他にはないと思 います。

(5) JR 千里丘と阪急摂津市駅の交通アクセスはどうするのか。

今でも歩行者、自転車、自動車 が交錯し、危険な道路だと思 います。JR 千里丘と阪急摂津市 駅が一体化する、また一体化した街づくりを考えねばならないのではないかと思 います。平面 でのみ考えるのではなく、空間をどう考えるのか。地下、地上、上階それらをどのような組み あわせでやると良いのか、よ〜く考えてやらないと後の祭りとなりかねないと思 います。

(次ページに続く)

24

意見・提案	
24	<p>(6) イベントのあり方について            摂津祭、音楽祭、子供会行事、祭など・・・いろいろありますが、地域性も考慮した対策がきわめて大事であると思います。摂津市の地理的条件からすると難しいことでもあります、それだけに公民館活動(広報の充実)をより充実させていくなど(よくやっておられると思いますが)。</p> <p>(7) 経費(投資)と効果について            校区の運動会のあり方、秋の花くばり(自治会に任せた配布など)種々考すべき点があると思います。本来の趣旨と、現実の運営面と乖離しつつある面もあると思いますが・・・</p> <p>(8) 鳥飼高校の跡地活用について            所有校など詳しいことは全くわかりませんが、いかに有効活用していかれるのか、とても興味深く、関心を持っています。北摂4市1町には、歴史資料館のない市は摂津市のみです。過去のことと言ってしまえばそれまでですが、貴重な資料などが散逸しないように、施設の活用も一考の余地があると思います。イベント、施策はどちらかと言えば、安威川以北に中心がおかれて実施されているのが現状であると思います。地理的な面からも、動員力からみても止むを得ないとは感じつつも、市の保有する4資源を有効活用する観点から考え推進していくときであると思います。</p> <p>(9) 余談ですが市の文書(最近の文書ですが)、きわめてわかりにくく、高齢者でなくても記入できないような体裁になっているものがあります。多分、ずいぶん前の文書をそのまま使用(コピーして)されていると思いますが、文書を提出する市民の立場で提出文書の文案、書き方をされてはいかかかと思ひます。差し出がましいようですが、困っておられる方が多くおられます。</p> <p>長々と書きましたが、批判・批評しているのではなく、生まれ育った摂津市がより良い、生活して、住んで良かったな、生涯学習も自らが進んでできる、隣近所とも仲よくやっている、そんな街 摂津であって欲しい、そうすれば、摂津市に人が集まってきて、にぎやかでさわやかな街になると思ひます。</p> <p>ヒトの集まる街 せつつ            一度は行ってみたい街 せつつ            やっぱり住んでよかったと言えるせつつ            そんなまち”せつつ”がいいな            そのための核となる 目玉となる魅力ある            街づくりが求められていると思ひます</p>
25	<p>摂津市には私的なスポーツセンター(ジム)が千里丘以外にありませんね。南摂津がこれ程(元気のある? 駅)になったのですから、ジムを誘致されると、もっと活性化すると思ひます。団塊の世代が退職する今年・来年には、することのない老人予備軍を増やさないように、健康のためにも必要ではないかと考えます。市民プールへも行きたいけど、プールだけでは・・・といっている人のことをよく耳にします。公民館・体育館・プールと活動範囲を広げられるように、よろしくお願ひします。</p>
26	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 阪急正雀駅付近には、多くの学校が存在します。              そのため、阪急正雀駅にも準急が停車するようにしたらいいのではないのでしょうか?</li> <li>・ 体育施設をもっと増やして欲しい。体育施設の使用料を安くして欲しい。</li> <li>・ 学生が多いので、総合レジャー施設のような物があってもいいのではないのでしょうか?</li> <li>・ 近くに本屋が無いので、本屋があってもいいのではないのでしょうか?</li> </ul> <p>その他、学生向けのカフェなど。            またバイト等の求人も少ないので、そういった店を増やすことで解消されるのではないのでしょうか?</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道路の状況について、阪急正雀駅から大阪人間科学大学への道は、道幅がとても狭いのですが、車やバイクのスピード超過をたびたび目撃いたします。事故が発生する前に、何らかの対策の検討をお願ひしたいと思ひます。</li> </ul>

### Ⅲ. 市民活動団体や大学へのインタビュー

#### 1. 実施概要

##### (1) 目的

平成21年度に設置を予定している「摂津市まちづくり市民会議」の人材確保に向けて、次の目的のために市民活動団体に対するインタビューを実施した。

##### 《実施の目的》

- ☞ 元気の良い“摂津市民”とつながりをつくる。
- ☞ 元気の良い“摂津市民”に、市が総合計画の策定に取り組んでいることを知ってもらう。
- ☞ 元気の良い“摂津市民”の、まちづくりについての意見（問題意識、アイデア）を聞く。
- ☞ 市民会議のPRと参加要請をする。また、参加しやすい条件を聞く。

##### (2) 実施内容

次のプログラムにより、インタビューを実施した。

##### 《プログラム》

- (1) 開催趣旨の説明
- (2) 自己紹介（参加者、摂津市）
- (3) 総合計画の説明
- (4) インタビュー  
＜テーマ＞
  - ・摂津の良いところ、良くないところ
  - ・まちづくりのアイデア
  - ・活動をしているうえでの悩み、問題点、支援ニーズ
  - ・市役所とどう連携していきたいか
  - ・団体の発展に必要なこと
  - ・まちづくり市民会議のアイデア                      など
- (5) まちづくりの意見募集のPR

##### (3) 実施団体及び実施日程

市政やまちづくりについての学習や活動を行い、それらの活動を通して、地域の活性化やまちおこしを目指すとともに、比較的、団体の自立度が高く、運営が安定しており、活動実績もある団体として、以下の6つのグループに対してインタビューを実施した。

## 《インタビュー実施団体一覧》

	団体名	人数	開催日	時間
1	摂津市市政モニター	9人	11月11日(火)	13:00～15:00
2	摂津市ネットワーク・チャオ	9人	11月14日(金)	15:00～16:00
3	「チューリップアートin摂津」実行委員会	7人	11月15日(土)	10:00～11:00
4	大阪人間科学大学 学友会	5人	11月21日(金)	13:30～14:30
5	大阪人間科学大学 杉本ゼミ学生	10人	11月26日(水)	17:30～18:30
6	市民環境ネット・せつつ	10人	12月 4日(木)	19:00～20:00

### 【団体の活動概要】

#### ① 摂津市市政モニター

- ・一般公募と団体推薦で選ばれた市民の方に市政モニターを委嘱。モニターでの話し合いで決定した提言テーマに沿って検討を重ね、提言書を市長に提出している。平成20年度の提言テーマは安全・安心のまちづくり。

#### ② 摂津市ネットワーク・チャオ

- ・男女共同参画センターを活動拠点として、摂津市民があらゆる立場を超えて結びあい、連携と相互理解を図り、男女平等の基本理念に基づき、女性と男性が共に生き、共に参画できる社会づくりのために活動している。

#### ③ 「チューリップアートin摂津」実行委員会

- ・富山県入善町に出向いてメンバーが摘み取ってきたチューリップの花を敷き詰め、アートを作成している。毎年4月下旬に大正川河川敷で開催。ワークショップで始まった活動が市民主体の活動に発展した。

#### ④ 大阪人間科学大学 学友会

- ・学友会は大学の自治会にあたる組織。平成20年度は「交流を深める」を活動テーマとし、“摂津まつり”や正雀駅前で開催された“たそがれコンサート”、“生涯学習フェスティバル”などのイベントに学生が参加した。

#### ⑤ 大阪人間科学大学 杉本ゼミ学生

- ・“正雀駅前地区まちづくりワークショップ”に参加し、正雀の活性化方策について話し合っている。全国の13大学が集う“まちづくりカレッジ in 摂津”に参加し、地元の自治会長等のご協力のもと正雀駅周辺でのまち歩きを企画・運営した。

#### ⑥ 市民環境ネット・せつつ

- ・市民団体、市民、地元企業、青年会議所等が連携・協力し、市民環境フェスティバルを開催している。その他、打ち水大作戦や、企業との連携による小学校へのゴーヤ苗の配布など、環境に関わる活動を展開している。

## (4) 意見・提案の活用方法

インタビュー結果を冊子としてとりまとめ公表する。また、策定委員会や市民会議など計画内容を検討する様々な場に基礎資料として提供する。

なお、その際、個人情報公表しない。

## 2. インタビュー結果

インタビュー結果は次のとおりである。

### (1) 摂津市の良いところ・特徴

#### ① まちがコンパクトで便利である

- ・ “小さい市だからこそその利点”もあるのではないかと考えている。
- ・ JR、阪急、モノレール、JR貨物などがある。大阪・京都・奈良へのアクセスが非常に良好である。大阪空港まで30分、関空まで1時間で行ける。高速道路へは、中国道、名神、近畿、阪和道と非常に近い。
- ・ 阪急京都線の正雀駅やJRの岸辺駅、モノレールもあるので、摂津市は交通が便利である。買い物もスーパーがあり便利である。自転車があればだいたいの場所に行ける。

#### ② 人が温かく、住みやすい

- ・ “まちづくりカレッジ in 摂津”の参加者から、「摂津はレトロなまち」、「人が温かい」という意見があった。また、“松竹温泉”の評判がとてもよかった。
- ・ 生活面ではごみごみしておらず、大きな建物もなく、どちらかという住みやすいという印象。
- ・ 町並みが変わらないということが、かえってよいことのようにも思っている。
- ・ 治安面で、夜道を歩いていて怖いということはない。大阪市内になると酔っ払いが多いが、摂津市は静かである。

#### ③ 大学がある

- ・ 大学が多いことを、まちづくりの宝物としてとらえたい。若い世代と高齢化社会とのジョイントをどうするかということを考えなくてはならない。
- ・ 大学や学校がない駅に比べると、正雀駅は有利だと思う。
- ・ 福祉施設などからのボランティアの募集が大学にある。大学ではボランティア募集の案内を掲示板に掲示し、興味ある学生が参加する仕組みとなっている。
- ・ 大阪人間科学大学では、味舌小学校や別府小学校と連携してまちおこしのイベントに参加したことがある。

#### ④ 新幹線の基地など鉄道に特徴がある

- ・ 鳥飼新幹線基地、新幹線公園、阪急の車庫など、見どころもある。
- ・ 摂津市の特徴として、新幹線の基地があることがあげられる。日曜日になると子どもが写真を撮りに来る摂津の名所なので、周辺を整備してほしいと思う。
- ・ 大学ゼミのフィールドワークのテーマとして“鉄道”を取り上げたことがある。例えば、新幹線の基地があるので、鉄道ファンの視点に立てば摂津の魅力になるのではないかとといった話し合いをした。

## ⑤ 環境に関して積極的に取り組んでいる

- ・環境教育ということで、牛乳パックから卒業証書を作る活動が10年以上続いている。全小学校に牛乳パック回収ボックスを設置している都市は他にないと思う。環境教育では、牛乳パックが卒業証書に変わるというように“見えるようにすること”が大事である。再生紙でつくった商品に「おかえりティッシュ」、「ただいまロール」と名前をつけている。そのトイレットペーパーやティッシュペーパーが、摂津市の全ての小学校、幼稚園、中学校に入っている。このような活動を通じて、環境に対する意識が子どもたちに根付けくようになればと思っている。
- ・南千里丘地域の再開発事業が、環境省のモデル地域に採択されており、すごく注目されている。また、新しい摂津市駅は日本初のCO<sub>2</sub>排出ゼロの駅になる。他都市にいくと環境に取り組んでいるまちとして注目されているのに、そうしたことが市民にはあまり知られてない。
- ・摂津市をグリーンカーテンでいっぱいになりたいと構想している。また、ジャトロパという木の実から油を抽出すると、ディーゼルエンジンの燃料に変わるものができるということで、その苗を植えて育てている。これでディーゼルエンジンの燃料を作るところまではできないので、この苗を育てるとディーゼルエンジンの燃料になるという啓蒙用の商品として育てようと思っている。市民環境フェスティバルの際に大々的に宣伝したい。先行きのことを考えた取り組みとして、摂津市のアピールの一つになればと思っている。

## ⑥ 市民活動が活発である

- ・公園の管理やごみ拾いなどのボランティア活動が活発である。
- ・牛乳パックの再生紙で卒業証書をつくるという活動をNPOがされており、“まちづくりカレッジ in 摂津”の参加者がよい取組だと話していた。
- ・先日、堺市の「共生の森」で植林をしてきた。やはり市民の意識は高いと思う。他都市の人から、摂津市からわざわざ堺までなぜ植林に来るのかということと言われることもあるが、他都市にはないことに取り組んでいると思う。

## ⑦ 企業も市民と一緒に取り組んでいる

- ・企業の皆さんのご協力は本当にありがたいと思う。これほどのご協力は大阪府内では他にないように思う。企業の皆さん、市民の皆さんがそれぞれの立場で協力してくださっている。本当にありがたいと思う。
- ・年に一度の「市民環境フェスティバル」を開催するのに4ヶ月前ぐらいから準備している。色々な方と顔を合わせて相談し、市民の皆さんに喜んでいただけて環境の意識啓発にもつながることを一生懸命に考えている。企業の皆さんは色々なノウハウをお持ちであり、色々ご協力をいただいている。また、ゴーヤについても、苗を買うと高いので、企業の土地をお借りして種から苗を育てている。環境家計簿についても、企業から社員の方にも呼びかけていただいている。このようなネットワークは素晴らしいと思うし、こうしたネットワークが力になって、まちづくりに活かされるとよい。

## ⑧ 市民と市民、市民と行政との距離が近い

- ・ 摂津のよいところは、小さい市であるということだと思う。市長と親しく話をさせていただく機会があったり、市民の意見、声が通るところがよいと思う。
- ・ 摂津は小さい町なので、少しでも行政と市民がともに汗をかけば、公園がきれいになったように、まちが変わるのではないかと思っている。
- ・ 何かを協働しようかというときに、8万5千人のまちというのは効率がよい規模だと思う。市民の力がもっと活きるような土俵を作っていくことが必要であり、そういうことから新しい総合計画はとても大事だと思う。
- ・ 小さい市であるがゆえに、市長や市議会議員が、子どもたちにとっても身近で親しみやすい存在である。それを有効に利用していければと思う。
- ・ まちを美しくするために公園のごみ箱撤去を提案したところ、実現することができた。

## ⑨ その他

- ・ “摂津市”という都市名は自慢できる名前である。
- ・ 公立の幼稚園が2年保育というところがよい。
- ・ 摂津市は他都市に比べてごみの収集作業が丁寧だと思う。

## (2) まちづくりの課題、方向性

---

### ① 「つどい、いこい、にぎわうまちづくり」関連（都市空間、市の魅力など）

#### a) 摂津駅周辺が整備されていない

- ・モノレールが整備され、南摂津駅周辺は見違えるようになったが、摂津駅周辺は何も整備されていない。

#### b) 正雀駅周辺が衰退している

- ・正雀駅周辺が衰退している。新駅が設置されることにより、さらに衰退してしまうのではないかと心配している。公共施設も新駅のほうに移っていくという話を聞いている。

#### c) 摂津市駅（新駅）と既存のまちづくりとのつながりがわかりにくい

- ・新駅が設置されるが、既存のまちづくりとどのようにつなげていくのかがわかりにくい。

#### d) 施設立地の偏りなど、不便な地域がある

- ・施設立地の偏りなど、地域によっては不便な地域があると思う。また、市民の意識についても地域性があると思う。

#### e) 摂津市が知られていない、名所づくりが必要

- ・誰に聞いても「摂津市を知らない」「わからない」と言われ、すごく悔しい思いをしている。そこで、新幹線の名所として全国に発信していきたいとして取り組んでいる。
- ・摂津市にはアピールできる特徴がないということで非常に情けなく思っている。
- ・新幹線公園やチューリップアートなどの名物があるが、摂津はパツとしていない。
- ・吹田市と茨木市の間にあって、摂津市はよく知られていないところがある。
- ・摂津市の名所づくりをしていきたい。全国的に宣伝できるものがない。市役所職員の方には、市内の名所をしっかりと把握してほしい。
- ・摂津には人を呼び込める要素がない。イベントをしても人が集まるのは1日か2日だけで、集客が継続しない。
- ・摂津市であることがわかるように、街にカラーをつけてほしいと思う。例えば、水のまちなのでブルーを街のカラーとし、駅に色をつけてみてはどうかと思う。その色を見れば、摂津市であるというようなイメージができればと思う。
- ・道に名前をつけるのもよいと思う。例えば遺跡ロードなどと名前をつければ、どこかに遺跡があると思うのではないだろうか。

#### f) 人口が減少している

- ・人口が減少傾向にある。
- ・摂津市ぐらいの面積であれば、人口は10万人ぐらいがよいのではないか。
- ・以前から人口10万人を目指してきたが、現在は8万5千人を下回っている。市街化調整区域があるので、用途を見直して開発を進めていく必要があると思う。

**② 「やさしさあふれるところづくりを進めるまちづくり」関連（平和・人権、男女共同参画、福祉、健康など）**

**a) 学校教育と連携して、男女共同参画の取組を進めたい**

- ・男女共同参画という視点からは、一人一人の個性を活かしあって、皆がニコニコしているようなまちになって欲しいと思っている。中学生向けに男女共同参画の視点をもったプログラムをつくっているのので、学校教育と連携できるとよい。

**b) 高齢者が元気に活動できるまちにしたい**

- ・高齢者であっても、できることは自分でしていただいたほうが、元気が出ていいのではないかと思う。自分でできることは自分でできるように努力をすることが必要だと思う。大人が努力をすることが、子どもたちへもよい影響を与えるのではないかと思う。
- ・足が不自由であったり、一人暮らしで家に閉じこもっている人に、家から出ていただいて、みんなで交流を持とうとしているがなかなか難しい状況である。

**c) 別府地域には病院が少ない**

- ・別府地域は病院が少ないように思う。

**③ 「地球時代のひとづくりを進めるまちづくり」関連（都市交流、市民文化、教育、生涯学習など）**

**a) 文化的な底上げをしていきたい**

- ・「都市格（都市の格付け）」を上げていくためには、文化のストックを増やすことが必要だと聞いた。摂津市には、離宮跡があり、著名な方もおられる。文化的なものの底上げをしていきたい。

**b) 学校教育の充実を図る必要がある**

- ・摂津市は、茨木市や吹田市、寝屋川市など周りの市よりも学習面で遅れていると聞く。やはり高学年になったら塾へ行かせないといけないのかと心配になる。子どもが大きくなると茨木市や寝屋川市へ引っ越す人もいると聞く。
- ・隣接する小学校で児童数に偏りがあるので、通学区域の見直しが検討されたが、なかなか話が進んでいないように思う。
- ・高校や大学が少ないというのが摂津の問題ではないか。教育面に力を入れていないのかなという思いがある。

**c) 放課後子ども教室が充実できるとよい**

- ・現在、“放課後子ども教室”は週1回であるが、週5日間できればと思う。

**d) 地域で子どもを守る組織の充実が必要である**

- ・校門警備は、少しのお礼を出して、ボランティアに協力を求めた方が長続きをしてよいと思う。自治会やPTA、民生児童委員、体育指導員など地域を担っている方々がフォローしていくような組織づくりができればと思う。

e) 大学間での交流・連携が少ない

- ・大阪人間科学大学は薫英女子短期大学以外の大学とは接点がない。

f) 南摂津駅周辺に文化・学習施設がない

- ・南摂津駅が近くにできて便利はいいが、市役所のサービスセンター以外の施設がない。公民館、図書館などがない。

④ 「暮らしをささえ、活力にあふれたものづくりを進めるまちづくり」関連（産業、勤労者・消費者など）

a) 正雀駅前の商店街が衰退している

- ・正雀駅前の商店街が衰退している。阪急摂津市駅が新しく設置されると、さらに立ち遅れるのではないかと。ロータリーの整備などの構想があったが、今も整備されておらず、車の出入りが行き詰まってしまっている。
- ・正雀の商店街が年々さびしくなっている。正雀駅に、急行か準急が停車するようになれば、もう少し活性化するように思う。南千里丘に新しい駅ができると、正雀の商店街がますますさびしくなるのではないかと。
- ・スーパーに自動車で購入に行く人が多く、正雀の商店街を歩いて通る人が少ない。
- ・商店街については後継者の問題もある。活気があまりない状況なので、今の自分の代で閉店することになってもやむを得ないと考えている人もいるようである。
- ・正雀駅から大学に向かうところに商店街があるが、そこに活気があれば立ち寄りやすくなると思う。商店街の活性化をお手伝いできればと思う。学生としては、できることであれば正雀を活動の拠点にしたいと思っているが、店舗が少ないために、上新庄や梅田に行かなければいけない状況である。若者向けのカフェなどができれば、流行るのではないかと。
- ・正雀に新しい居酒屋ができてから、そこに集まるようになった。以前からある飲み屋は規模が小さく大人数では利用しにくい。
- ・正雀駅周辺には、若者のニーズを捉えた学生が入りやすい店がないというのが課題であるように思う。
- ・何か1つでもアピールできるものが正雀にあれば、人が集まると思う。よいところをアピールできる何かがあれば、正雀の駅自体もよくなっていくのではないかと。朝から晩まで過ごすことのできる梅田と同じようなまちを、摂津につくる必要はない。
- ・正雀駅周辺で可能性のあるビジネスアイデアをゼミで考えた。主婦や高校生、大学生をターゲットにした“弁当屋”、持ち帰り用の“だんご屋”“回転焼き”、学生向けの安くて健康的な食事を出す“飲食店”、高齢者向けに和菓子やお茶を出す“お茶屋”、近隣の大学で幼児教育を学んでいる学生をアルバイトに活用した“駅前託児所”、不要となった教科書が処分できる“古本屋”、雑貨や家具などの幅広い品揃えをした“リサイクルショップ”、特色ある商品を扱った“古着屋”などのアイデアが出された。

b) モノレール駅の周辺に賑わいが無い

- ・商店街が少々停滞ぎみのようである。モノレール駅がいくつかあるが、賑わいがあまりない。

c) 若者がアルバイトをしたり、楽しめる場所が少ない

- ・摂津市内ではアルバイトがしにくい。大学に近すぎると、友達に会うかもしれない、それが嫌である。カフェなどかわいい店でバイトしたいとなると、梅田まで出ていかないといけない。
- ・お酒を飲みに行く時は梅田へ行く。学生向けのボウリング場やカラオケボックスがあればうれしい。学校が終わってから遠くの店に行くのは大変。牛丼屋やファーストフードなどのチェーン店もあれば便利である。
- ・駅周辺で一通りの買い物ができる高槻の方が便利なので、高槻市駅周辺に下宿することにした。

d) その他

- ・最近では共働きが多い。そうしないと生活が苦しいようである。雇用政策がおかしいように思う。

⑤ 「安全で快適な生活を生み出すまちづくり」関連（「河川、緑化、住環境、交通、環境、都市基盤など」）

a) 鉄道や河川、道路でまちが分断されており、活動や交流がしにくい

- ・川でまちが分断されていることによって、活動や交流に支障をきたしている。
- ・チラシを配ろうと思うと自転車で1日で回ってしまえるほどの規模のまちであるが、まちが分断されていて行き来がしにくい。
- ・鉄道、河川、道路で地域が分断されているため、市民同士の気持ちが分断されているように思う。

b) まちに緑が少ない

- ・摂津は緑が本当に少ないと思う。今後は緑のマスタープランなどを作って、学校や神社などに点在している緑を、点から線に結んで面になるような計画を立てて、計画的に緑を増やしていただけたらと思う。建物を建築する企業にも協力していただいて、屋上緑化や壁面緑化などにより緑を増やしていくような取組をして、緑化率が上がるとよい。
- ・緑を増やし、道路の排気ガスなどによる公害がないようにして欲しい。

c) 道がわかりにくい

- ・駅前が開発が少し遅れていると思う。道を知らない人は正雀駅に車でアクセスするのが難しい。道路整備がもっと充実すればと思う。しかし、車が増えると、子どもが危険になるかもしれないと難しい。いいかたちで、まちづくりを進めていただけたらと期待している。
- ・大阪市内から摂津市へ来る道がわかりにくい。

**d) 自動車交通量が多い**

- ・現在の摂津市は通過点にしか過ぎない。交通渋滞の可能性がなきにしもあらず。
- ・踏切の交通量が多く、渡るのに時間がかかるので、急いでいる人や車が多くて怖い。

**e) 道路が狭く、歩行者が安心して歩けない**

- ・車の通り抜けが多いわりに細い道が多い。子どもが危険な目に遭うことがある。なかなか改善が見られない。
- ・安全性・快適性に乏しい場所がある。歩行者に優しくない。商店街にしても住宅にしても、はみ出しや占拠があり通りにくい。
- ・他市に比べると摂津市は道幅が狭い。もう少し広くしていただければと思う。
- ・南千里丘のまちづくりのワークショップに参加し、子どもたちの通学の安全確保のため地下道の整備を提案したが、予算がないため、踏み切りの交通整理の人員を登校時間に配置することとなった。市民の意見が反映されず残念だ。
- ・“まちづくりカレッジ in 摂津”のワークショップでは、「道が狭い」、「車のスピードが速すぎる」という意見が多く出され、速度規制などの提案もあった。

**f) 夜道が暗い**

- ・大阪人間科学大学からJR岸辺駅へ向かう道が、夜道が暗くて怖いと思う時がある。もっと街灯を増やした方がよい。
- ・正雀の街は暗いように思う。冬場は夕方6時頃に大学から帰るが、街が真っ暗で店に立ち寄る気にならない。お店が閉まるのが早いので暗くなるのではないか。

**g) バスが不便な地域がある**

- ・バスが不便な地域もあり、市内循環バスが運行しているが、民間バスが通っていない市道を運行しているようである。土日に運行していないため、土日の催しに参加するのに使えず不便である。鳥飼地域が一番交通の便利が悪い。
- ・市内循環バスが運行しているがルートが不便である。また、出前バスやタクシー券の配布など柔軟に考えていただきたい。
- ・別府地域は、バスが不便であり、自転車でないところに行くにも不便である。
- ・バスの交通機関がだんだんなくなってきて、買い物や通勤・通学のために駅まで行く交通手段がない。もう少しバスの便を便利に利用できたらと思う。
- ・東別府に住んでいるが、交通の便がとても悪く、排気ガスも多い。
- ・交通が不便な地域のことも考えて、コミュニティバスをもう少しこまめに運行して欲しい。

**h) 自転車に安心して乗れない**

- ・交通が不便だということをよく聞く。自転車であればすぐかもしれないが、小さいお子さんがいる方など、自転車が危なくて乗れないという人もいる。
- ・3カ月前に千葉から引っ越してきたが、千葉に比べるととても自転車が多い印象がある。それなのに、特に自転車が通る路肩の道路整備があまりされておらず、段差があったり、接触するなど、危険な目にあったりする。

i) その他

- ・下水道設備にいち早く取り組んだこともあり、水道代が高い。
- ・淀川のあたりにいくことはない。
- ・ごみ収集車を天然ガス車等にシフトしていけないだろうか。
- ・駅には駐輪場があるが、駐輪場が見あたらない場所もある。

⑥ 「市民とともに創りあげるまちづくり」関連（コミュニティ、市民参加、情報公開・提供、行財政運営など）

a) 市民のまちづくりへの関心が低下している

- ・5年前にモニターを募集した時は、あふれるくらい応募があった。あの頃は関心度が高かったが、時代が変わっている。今は市への関心が離れているのかと思う。移り変わりがあるように思う。
- ・市民意識調査の回収率などを聞いてみても市民が市政に関心がないように思う。
- ・市民のまちづくりへの関心がない。
- ・何か取組を推進しようとしても、住民に協力していただくのはなかなか難しい。
- ・市民にも「税金を払っているのでやってほしい」と行政任せの意識があるように思う。
- ・一般市民からすれば、個々の生活に手いっぱい、「総合計画」といわれても自分たちには関係のないことと思われるだろう。摂津市はこじんまりしていてまとまりやすい適度な大きさのまちだと思うが、行政と自分の生活とはかけ離れていると思っている人が大多数であろう。

b) 住民間の交流促進が必要である

- ・自分と同じように他都市から転入してきた人とはつながりやすい。
- ・習い事などでの友達はいるが、隣近所の人との接点を広く持てるようになればと思う。
- ・マンション住まいの方の中には、地域と関わりを持ちたがらない方もおられる。

c) 投票所のバリアフリー化が必要

- ・足が不自由な人から、投票へ行きにくいということをよく聞く。また、投票所もバリアフリー化がされていない。

d) 市役所の業務や情報提供がわかりにくい

- ・もう少しわかりやすいホームページにしてほしい。必要な情報が見つけにくい。4月になるとチューリップアートの情報を見つけやすくしてほしい。
- ・市役所は住民票発行を行うところというイメージがあり、イベントを行うイメージはない。例えば、イベントをインターンシップのプログラムに取り入れると、イメージとは違う市役所が見られるように思う。
- ・企業の跡地について、当初市が土地を買い取るという話であったのが、経済状況の変化により変更となっていた。しかし、市民にはそれが知らされていなかった。計画を修正した時にどのように市民に伝えていくかということが課題だと思う。

**e) 市民と行政とのコミュニケーションや市民参加の方法を工夫する必要がある**

- ・アンケートなどはもっと答えやすいようにしてほしい。
- ・アンケートについても集めに回るぐらいのことをしなければならない。郵送だけでは回収は難しいだろう。
- ・市政モニターと議員や行政担当者とのコミュニケーションをもっともつことができれば、市政モニターの意見についても理解してもらいやすいと思う。
- ・摂津市は小さな市であるので、市民が行政に関わりやすいと思うのだが、それを活かすための仕組みができていないように思う。
- ・意見募集のチラシが公共施設等で配布されているが、南摂津には公民館がないので、こういう意見募集が行われていることをご存知でないと思う。
- ・南千里丘のまちづくり懇談会に出席しているが、意見を言ってもあまり反映されていないように思う。どんな小さなことでも市民の声や利用者の声は大事だと思う。使い勝手がよくなるように、市民の声を聞いてもらいたいと思う。
- ・市民活動をしているが、このようなかたちで市民の声を聞いていただくのは初めてではないか。
- ・行政と市民が向かい合うのではなく、同じスタートラインにたって 10 年後を目指していくことができればよい。
- ・これまでの摂津市は行政主導で動いており、市民の声はあまり聞いてもらえなかったように思う。
- ・市民や大学、行政などが、話し合える場所、参画の場が必要だと思う。市民、行政、大学生の方の目線はそれぞれ違うように思う。まちをよくしていくためにはいろんな意見が必要だと思う。固定観念にとらわれず、いろんな意見を聞くことが必要だと思う。
- ・正雀駅周辺は学生が多い。学生や高校生に意見を求めれば、様々な意見・要望が出るのではないか。今のところ他の大学とつながりをもつことはしていない。

**f) 市内の人材や集会所などの拠点をもっと活用する必要がある**

- ・審議会に参加しているメンバーが固定化し、新しい声が入ってこないように思う。公募にすれば意欲のある人が参加すると思う。
- ・審議会や小学校の活動などで経験ある年配の方に手伝っていただくのはよいことだと思うが、これから参加して勉強しようと思われている若い方が入る隙間がないという一面もある。経験のある方と、若くて意欲のある方が協力しあう仕組みを作る必要があるのではないか。
- ・摂津には、眠っている人材がたくさんおられるように思う。市民の力を借りたいというのであれば、その前に、人材の掘り起こしをしてほしいと思う。
- ・今後は元気な高齢者が増えていくので、「自分たちで何かをしよう」という企画を考えるような場や高齢者が集える場、居場所があればと思う。習い事などでの利用のため、集会所があまり自由に使える場となっていないように思われる。
- ・各地区にある集会所の使い方も難しい。財産区の集会所と市の集会所がある。財産区の集会所については、利用にあたっての規制がある。
- ・鳥飼地区には飲食できる公共施設が少ない。飲食ができれば、懇親の機会ももちや

すくなり、自治会関係の活動がやりやすくなるのではないかと思います。お互い本音で言い合える関係が増えていくと思う。

- ・ 摂津は財政的な余裕があるわけではないので、やはり人の力が財産だと思う。市民の力をいかに発掘して、育成して、まとめ上げていくかということがとも大事だと思う。活動しやすい基盤を作ることが行政の役割であり、それにより市民が動きやすくなることを期待している。

**g) 市民や利用者ニーズを踏まえた支援を行ってほしい**

- ・ 南千里丘に市民活動の拠点整備される予定であるが、それを摂津市がどのように運営していこうと考えているのかが見えてこない。行政主導で行うのではなく、市民や利用者の声を吸い上げて欲しい。
- ・ 補助金などの制度があると思うが、インターネットで調べたりはできていない。

**h) 市役所職員の育成や庁内連携が必要である**

- ・ まちづくりに関わる担当部署に配置されている職員数が少ないように思う。市民も行政も協働の経験が少ないのでコンサルタント任せにしているところがあるが、市民も行政も協働の経験を高めていくことが必要である。
- ・ まちづくり支援課と公園みどり課など、役割が重なっている部署があるように思われる。茨木土木事務所との河川敷管理との関係も少々わかりにくい。
- ・ 行政が縦割りで情報が共有されていないように思う。また、地域の活動でも団体での縦割りや、地域の境界での連携・分担が難しいことがある。

**i) 行政活動に無駄があるのではないか**

- ・ 公共施設の警備や散水方法などを見ると、行政の活動にはまだまだムダが多いと思う。マニュアルを見直す必要があると思う。また、スペースの3割ぐらいは物置になっていると思う。

### (3) 市民活動に関わった感想や今後取り組みたいこと

---

#### ① 市民活動に関わった感想

##### a) 市民活動に関わることで「まち」が好きになった

- ・ 摂津に何の縁もなく住み始め、単なる住まいという感覚だったが、市民活動に関わるようになってようやく「自分のまち」と言えるようになったように思う。そうでなければ、もっと条件のよいところに引っ越していたかもしれない。
- ・ 行政には不満があるが、摂津市が好きになってきたのはまちづくりに関わってきたからだと思う。まちづくりに関わることでよいところも見えるが、逆に、悪いところも見えてきてがっかりすることもある。しかし、何かを変えたいと思うのであれば、自分も動かないといけないと思う。

##### b) 「まち」のことをよく知り、「自分たちができること」を考えることが大切

- ・ まちづくりについての研究成果の発表会に参加したところ、摂津のよいところについてたくさん気づかせていただき、とても勉強になった。もっと摂津のことを勉強する必要があるというご意見もあった。自分たちが何ができるのかということを考えていかないと空論ばかりになってしまう恐れがある。

##### c) 活動を継続していくことが大切

- ・ イベントを毎年続けていくことによって初めて評価されるようになるのだと考えている。

#### ② 今後、市役所や地域と連携していきたいこと

##### a) 高齢化に対応するため、防災面で行政との連携を強化したい

- ・ プライバシーの関係でどこに誰が、どんな年代の人が住んでいるというのが把握しにくい。民生委員として、有事の際に援助が必要な方のところに行きたいので、どこに誰が住んでいるのか、連携して知らせてほしいと市役所をお願いしている。高齢化が今後一層進むので市との連携が必要である。

##### b) 地域と大学、大学と行政との関わりを増やしたい

- ・ 大学には体育館やホールなど大勢の人が集まれる場所がある。行政と大学が提携し、それらの施設を有効活用することができれば、もっとまちがよくなるのではないか。学外の人が大学に入ってくるような集まりとして“公開講座”や“交流サロン”などが年に数回開催されているが、参加者は少ないようである。
- ・ これまでは摂津市のイベントに学生が参加するというかたちだったが、先日の“まちづくりカレッジ in 摂津”のように、今後は、大阪人間科学大学のイベントに地域の人にも参加してもらえればと思う。
- ・ 大学の近くの団体とつながりをもつことから始めて、徐々に交流を広げていきたい。

## (4) まちづくり市民会議のあり方について

---

### ① まちづくり市民会議のあり方について

#### a) 何を話し合うのかがわかりにくい

- ・ 「まちづくり市民会議」という漠然とした名前だと、何を話し合うのかがわかりにくいかもしれない。

#### b) 市民会議の提案を総合計画に反映していくことが重要である

- ・ “まちづくり市民会議”については、意見の言いっ放しに終わるのではなく、意見が反映されたと参加者に実感していただけることが大事ではないか。
- ・ まちづくりのワークショップや総合計画で、市民の話を聞くのはよいことだが、それがどのように反映されるかが大事である。発言したことの全てが実現されるとは思っていないが、市民に説明していただければと思う。
- ・ 今後の 10 年を考えるとされているが、机上の空論にならないのかというふうに思っている。
- ・ ワorkshopを開いて市民の意見を聞こうとしているのは評価できるが、市民の意見を活かして欲しい。そうすれば、「まちづくり市民会議」にも参加して、もっと意見を言おうということになると思う。

#### c) “まちづくり市民会議” と“総合計画審議会”との連携が必要

- ・ “まちづくり市民会議” と“総合計画審議会”が連携する必要がある。

### ② 参加者の募集について

#### a) 多様な属性の市民が参加できるとよい

- ・ “まちづくり市民会議”の企画は非常によいので、男女別や地域別、年齢別などのバランスを考慮していただきたいと思う。
- ・ もう少し若い人の意見が聞ければよいと思う。
- ・ “まちづくり市民会議”には、多くの世代の方に参加していただきたいと思う。
- ・ 人が集まる場所に出向き、「どんな摂津市がよいか」ということを聞けば、いっぱい意見が出ると思う（PTAの役員会議、わくわく広場の定例会など）。

#### b) 参加への動機付けや、応募のしやすさが重要

- ・ まちづくり市民会議について、公募だけで人は集まらないように思う。声がかかると参加（応募）しようという気持ちにもなるのではないか。
- ・ 鳥飼地区はPTA、自治会、子供会の活動が盛んである。市民会議に出る人を募れば、参加する人が見つかるのではないか。
- ・ 参加者に何か特典があると、結構、人は集まる。それを応用するなど、人を集める工夫も必要ではないか。
- ・ 参加者募集の用紙に、文章で意見を書くのは難しい。対面の方が話しやすい。

### ③ 参加しやすい曜日・時間帯などについて

#### a) 開催の時間帯に工夫を

- ・“まちづくり市民会議”に続けて参加ができるように開催の時間帯なども工夫してほしい。

#### b) 平日の夜が参加しやすい

- ・まちづくり市民会議の開催日程は、月に1回程度で平日の夜の開催が望ましい。
- ・まちづくりについて話し合いをもつ際は、平日の夜の方が参加しやすい。

#### c) 多様な時間帯に開催できると参加しやすい

- ・様々な会議を開いているが、都合のよい曜日や時間はなかなかそろわないので、可能であれば、働く層が集まりやすい時間や、小さな子どもを抱えてらっしゃる方が集まりやすい時間など、何回かに分けた開催ができるとよい。

## (5) 新しい総合計画についての意見

---

### ① 総合計画の策定方法について

#### a) 市民の意見を取り入れて作成して欲しい

- ・第4次総合計画について、市民の意見を取り入れて作成して欲しい。
- ・新しい総合計画は、計画の端々に市民の声が入っていると分かるようなものにしたい。そのためにも、まちづくり市民会議のような市民が発言できる場を作ってほしい。
- ・市役所職員のうち摂津市内に住んでいるのは半数と聞いている。実際に摂津市に住んでいないとわからないこともあると思うので、地域に住んでいる住民の意見や問題意識をよく把握して計画策定を進めて欲しい。
- ・市民活動に関わっている人の意見を聞くだけでは不十分だと思う。日常生活に追われている一般市民の声を聞いて活かしていくことが必要である。
- ・インタビューは、あらゆる世代とあらゆる立場の人にしていただきたいと思う。
- ・総合計画審議会の委員にも市民を加えるべきだと思う。

#### b) 第3次総合計画の成果と課題を踏まえて作成して欲しい。

- ・第3次総合計画の達成状況を整理する必要がある。第4次総合計画については、ゼロから作り直すのではなく、足りないことを足していった方が、より素晴らしいものができるように思う。
- ・現在の総合計画の結果についての評価がされていないなかで、これからのまちづくりの方向性を問われても戸惑う。

## ② 総合計画の内容について

### a) 少し長い視点で計画を策定して欲しい

- ・目先のことだけにとらわれず、少し長い視点で計画を策定していただきたい。

### b) 市民が読んで、よくわかる内容にして欲しい

- ・第3次総合計画を見ると、“こうかん”という言葉が6つ用いられているが、辞書で調べると“好感”と“交歓”の2つしか載っていない。わかりやすい言葉を用いることが必要である。
- ・総合計画の内容が市民には非常にわかりにくい。第3次総合計画を見ると、「充実する」、「活用する」、「検討する」などの表現が多い。なるべく具体的な内容とし、市民が関心をもてるようにして欲しい。冊子についても立派なものとする必要はない。
- ・総合計画を読んでみたが、非常に読みづらい。どの世代が見てもわかるように視覚に訴えるものが必要ではないかと思う。

### c) 担当部署を明確にして欲しい

- ・総合計画に責任部署が明記されていない。担当部署を明確にすることが必要である。

## ③ 総合計画の周知について

### a) 総合計画の内容と進捗状況を、市民に周知して欲しい

- ・総合計画のことは市民にあまり知られていないように思う。“広報せつつ”でも、まちづくりの成果などの記事を見たことがない。市民にその都度報告をするということが、関心をもってもらうきっかけになると思う。
- ・総合計画があることを知らなかった。

## ④ 総合計画の進行管理について

### a) 総合計画の進捗状況を把握し、計画を着実に実行して欲しい

- ・新しい総合計画の期間を10年とするようであるが、10年間は長いように思う。指標は10年ごとの見直しでもいいが、施策は毎年見直していく必要がある。PDCAのうち、C（チェック、評価）とA（アクション、改善）が不十分であったように思う。評価指標を作成するのは非常によい。計画の段階から、1つ1つの項目について工程表を作成し、進捗状況に応じて見直しができるような体制にしておくことが必要である。
- ・総合計画が実行され、「総合計画があつてよかった」、「計画的に取り組んでいた」と市民が思えるように取り組んでいただきたい。

摂津市のまちづくりについての市民意見

平成 21 年（2009 年）6 月発行

編集・発行 / 摂津市 市長公室 政策推進課  
〒566-8555 大阪府摂津市三島 1 丁目 1 番 1 号

電 話 06-6383-1111（大代表）

072-638-0007（代表）

F A X 06-6319-1924

E メールアドレス [seisaku@city.settsu.osaka.jp](mailto:seisaku@city.settsu.osaka.jp)